

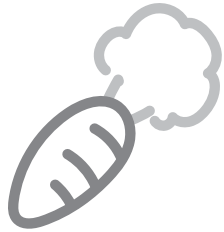
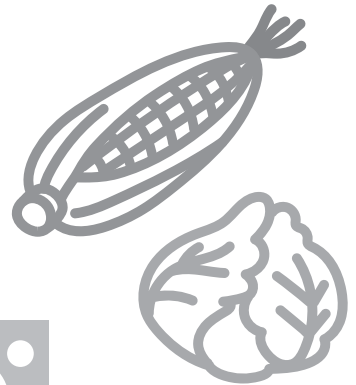


市民の声で、  
今を見つめる。

今回のテーマ

好きな野菜は何ですか？

まきば保育園の4歳・5歳の園児28人に聞きました。



全国的にも  
子どもたちに  
人気があります！

人気ベスト5

1位	トウモロコシ	5人
2位	トマト	4人
3位	キュウリ ニンジン	各3人
	キャベツ	
	ブロッコリー	
4位	ピーマン	2人
5位	スイカ パプリカ	各1人
	ほうれん草 玉ネギ	

※「野菜は嫌い」1人

最近では  
「嫌い」と言う  
子どもが  
減っています♪



8/31 (水) は「野菜の日」



この日は、みんなでたくさん野菜を食べましょう！

おすすめはカレー。どんな野菜でもよく合い、量もいっぱい食べられますよ！

ぜひ旬の石狩産野菜でお楽しみください。



7/29 (金)「夕涼み会」があります！

綿あめやヨーヨー釣りの出店があったり、みんなで線香花火を楽しんだり、とても楽しいひとときです。皆さんぜひ遊びに来てくださいね。  
時間／17時45分～19時



さとう 佐々木 了園長



主任保育士 熊谷 美鈴先生

●「ゆうゆうまきば」の8月の開放日  
日時 3(水)10時～11時 ※雨天時は休み  
場所・問合せ まきば保育園(樽川6-2-600)  
☎72-0050

お日様の下でいっぱい体を動かし、旬の物をおいしく食べることが、子どもたちの健やかな成長を促してくれます。

●「ゆうゆうまきば」としてその園庭を開放しています。砂場あり、遊具あり、水遊びできるプールありの園庭ですが、中でも目を引いたのが佐々木了園長が育てる野菜の畑。園庭の一角にある小さな畑ながら、表紙のキュウリをはじめ、ジャガイモ、ナス、トマトなどがすくすく育ち、子どもたちが身近に花や実を観察することが出来ます。「自分で収穫するのはもちろん、実がなる様子を間近に見ることで子どもたちの興味もわくわくでしょうね、給食に出したら残さず食べてくれますよ」と佐々木園長もうれしそう。

樽川のパストラル地区にある「まきば保育園」は、自然とふれあう保育を大切に、毎日、戸外遊びを日課に取り入れています。四季の自然を感じながら、土や水、草、虫などに触れ、五感を十分に使うことで子どもたちの豊かな感性を養い、丈夫な体作りを目指して、5月から10月の間は、月2回、就学前のお子さんには「ゆうゆうまきば」としてその園庭を開放しています。

まきば保育園の園庭開放  
ゆうゆうまきば



# まちの話題



マークの付いた行事は「えりすいしかりネットテレビ」でもご紹介しています。 <http://www.i-eris.tv/>

6/14(火) 場所／はまなすの丘公園ほか



輪島市区長会会長16人が来石。はまなすの丘公園などの見学や石狩市連合町内会連絡協議会との親睦を深めました。

友好都市・輪島市の  
区長会会長が来石

石狩市の持つポテンシャルの高さと力強さを痛感しました。大都市札幌に近いということでのメリットとデメリットの両面があると推察しましたが、良い面を取り込んで今後のますますのご発展をお祈りしています。



輪島市区長会会長  
理事 高野 哲男さん

6/5(日) 場所／厚田みなと朝市会場隣り



地元有志で結成された「地域賑わい呼びおこし隊」が、日ちと食数限定の「朝市食堂」を試験営業しました。

朝市食堂で  
地域ににぎわいを!

厚田の旬の味で作った「豆イカの煮付けと帆立ソテー定食」を用意。「おいしかった」の声をたくさんいただき、励みになっています。次回は8/11(木・祝)で、メニューは「海鮮塩焼きそば」に決定。お楽しみに!



地域賑わい呼びおこし隊  
さだよし  
隊長 津川 禎祥さん

6/30(木) 場所／花川北コミセン



4月から月1回土曜にミックスペーパーの戸別収集が始まり、取り組みの推進と資源の有効利用について講演が行われました。



大西 美津子さん

ミックスペーパーリサイクルが地球のためにすごく大事な事だと再確認しました。「ダメな物を覚えれば後はほとんど対象」「テストの点など誰も見えない」と聞き、安心して協力できると思いました。

みて!きいて!ごみを  
へらそう講演会VOL.4

6/19(日) 場所／花川北コミセン



「みんなで手話でつながろう!!」をテーマに、第2回目となる石狩手話フェスタが開催されました。

石狩手話フェスタ  
2016



手話の体験が楽しかったです。自己紹介やあいさつを教えてもらい、難しかったけど、慣れたら楽しかったです。  
あいものや ふがく  
南線小5年 四十物谷 富楽くん

手話は幼稚園でもやったことがあって、今日も楽しかったです。  
南線小1年 さくら  
あいものや さくら  
四十物谷 咲久楽さん

7/11(月) 場所／浜益小学校



澄み切った青空の中、浜益小学校1・2年生による「タニシの引っ越し」という体験学習があり、同時に子どもたちによる田んぼの水質調査も行われました。

タニシの引っ越し



浜益小2年  
はるな  
山本 遥菜さん

タニシもいっぱいいたけど、小さいドジョウがかわいかったです。さいごに水質検査では私たちの田んぼはきれいで、栄養がいっぱいってことがわかりました。

6/30(木) 場所／りんくる



子どもを取り巻く現状を認識し、地域ができることを考えるシンポジウムが開催され、教育関係者など約150人の参加がありました。

子どもの未来を応援する  
シンポジウム



レタクター  
子どもの居場所づくり準備会  
菅原 麻弥さん

実際にサポート活動をしている方々の講演を聞き、地域社会で育てる・見守る大切さを感じました。「私たち地域の子ども、若者たち」という意識が必要ですね。改めて自分自身の子育てを顧みる機会にもなりました。